

全国医学部長病院長会議「患者安全推進委員会」との意見交換会（報告）

日 時：令和7年12月15日（月） 10:00～12:00

場 所：一般社団法人日本医療安全調査機構 会議室

出席者：（敬称略）

AJMC 木下、中島（勸）、滝沢、櫻井、小林、大磯、中島（和）、中村、有賀、坂本
医療安全調査機構 田原、木村、宮田、山口 他

1. 医療事故調査制度に関するアンケート調査結果について説明（全国医学部長病院長会議）

2. 医療事故調査制度の現状と課題について説明（日本医療安全調査機構）

3. 意見交換

○病院に対して民事損害賠償請求がなされている報告事例があることについて、意見交換を行った。

○センター調査に関する意見交換を行った。（以下主な意見）

【AJMC】

- ・医療界がプロフェッショナル・オートノミーを発揮して、院内調査報告書の作成に資することが基本である。
- ・センター調査にあたっては、各パーツに対しての評価だけを重視するのではなく、院内の体制等を掘り下げて科学的に分析し、システム思考で検証することが重要である。
- ・センター調査の実際について詳細な説明があり、内容が理解できた。センター調査報告書は、当該医療機関と遺族以外には交付されないが、多くの医療従事者に調査方法等を伝えた方が良い。
- ・これまでに集積された報告事例を科学的に検証し、院内調査やセンター調査が再発防止に役立つようにしてほしい。
- ・「提言」についても診断知識や手技を中心にまとめられており、その内容は大変貴重な知見であるが、それをどのようにシステム化させるかが重要である。
- ・医療事故の当事者の若い医師が医療から離れてしまうという傾向も見られる。
- ・AJMC としても、センター調査を再発防止に役立ててほしいため、制度の推進には是非協力したい。等

【医療安全調査機構】

- ・様々な課題についてご意見をいただいた。機構として今後 AJMC と定期的に意見交換を行いながら業務改善に努めていきたい。